



①



②



③

- ①羽織袴の長じゅばんの部分がTシャツに、ウエスト部分がホックになっていたり現代風にアレンジされている
- ②左上から時計回りに「つくり帯」、「半襟」、「帯揚」とカラフルな品揃え
- ③1枚の小風呂敷からできるオリジナルの足袋。季節感あふれる様々な柄はプレゼントとしても好評

5月10日(金)～12日(日)には「赤礼市」(長崎呉服専門店会主催)をS東美にて開催予定です。どうぞ皆さん、ぜひお立ち寄りください!

Information



3月1日にホームページを開設しました



有限会社 杉岡商店  
(呉服・婦人服 すぎおか)  
〒850-0015 長崎市桜馬場2丁目6-4  
☎ 095-823-5541 FAX 095-823-5897  
HP <https://sugioka-gohoku.com/>  
営 9:00～19:00  
休 第2・第4日曜日  
(ご連絡いただければ開店いたします)

有限会社 杉岡商店(呉服・婦人服 すぎおか)

代表取締役 杉岡 功一郎 さん



日本の伝統的な衣装、着物を後世に伝えるために

今回のがんばってますは、長崎市・桜馬場の地で、振袖や紋付袴をはじめ、着物の販売や手入れ、リメイクなどを手掛ける「呉服・婦人服 すぎおか」。創業から今年で59年目を迎える、有限会社 杉岡商店・代表取締役の杉岡 功一郎さんをご紹介します。

呉服・婦人服店を継ぐ

昭和36年5月に祖父の義一さんが創業した「呉服のすぎおか」の三代目である杉岡さん。物心ついた頃から色とりどりの着物に囲まれ、祖父や父がお客様と話す背中を見て育ち、地元の高校を卒業後は京都の大学へ進学。その後就職した会社は、縁あって、着物や帯の金銀系製造でスタートした京都の真空蒸着フィルムメーカーだった。

「会社の中に京都の西陣織を取り扱う部門があり、私が呉服屋の息子だと知った先輩が着物や帯の製造現場を見学させてくれたんです。実家を離れ、再び呉服に関わることがきっかけとなり、家業を継ぐ決心をし、昭和63年に帰崎しました」

着物への思い

「着物の良さは、日常生活の中で日本の伝統美と触れ合えることですね」と話す杉岡さん。一点ごとに違う特徴をもつ着物を厳選し、こだわりをもって仕入れている。

「お客様がお気に召された着物をお求めいただくことで、これから長いお付き合いが始まります。何か、自分の娘を嫁に出すような気持ちになります」

「良質の品をお手頃な価格で提供することはもちろん、お客様の要望にできる限り応えられるよう、お召しになる方の体型やシーンなどを考慮した着物作りを心掛けています。また、お客様や着物を製作する仕立て屋さんとも打合せを重ね、密にコミュニケーションを取るようになっています」と杉岡さん。

良 い品物を提供するために

「良質の品をお手頃な価格で提供することはもちろん、お客様の要望にできる限り応えられるよう、お召しになる方の体型やシーンなどを考慮した着物作りを心掛けています。また、お客様や着物を製作する仕立て屋さんとも打合せを重ね、密にコミュニケーションを取るようになっています」と杉岡さん。

近頃は、母の振袖をリメイクし娘が着用する「ママ振袖」にも対応している。「しみ抜きや仕立て直しといった悉皆にも力を入れていきます。体格や好みの違う親子でも、それぞれの雰囲気合った仕上がりになるようこだわりますね」と自信をみせる。

わかっていきます」と自信をみせる。

これからの店づくり

「値段が高い、着付けが大変そう!」といった数居の高いイメージのある着物。七五三にはじまり、成人式や結婚式、長崎だと、くんちの時など、特別な日に着ることが多いのが通例。

しかし、最近では、新鮮さや華やかさ、非日常の感覚を求める若者が増え、都会では街歩きや食事会での活用など人気が出てきている。

「当店では、たんすに眠っている帯を簡単に結べる「つくり帯」に仕立て直したり、古い着物でもカラフルな半襟や帯締め、帯揚といった和装小物で現代風にアレンジしています。また、気軽に着物の相談に対応できる店づくりに取り組んでおります。併せて、来年の60周年を前に新設した

ホームページを活用し、若い世代をはじめ、着物を着る機会が少ない方々に向けても、改めて着物のすばらしさを発信していきたいです」と熱く語った。

「新しい着物を仕立てたい方」「お母さんのお古の着物のリメイクや手入れをしたい方」はぜひ、杉岡さんにご相談ください!

※悉皆：シミ抜きや洗い張り、染め替え、刺しゅう直しから仕立直しまでの加工作業のすべてを行なうこと